



箕面小だより



箕面市立
箕面小学校
令和7年(2025年)
6月号

学校教育目標
めざす子ども像
めざす学校像

支え合い、ともに伸びゆく箕面小っ子

ともに考える子(知)、ともに高め合う子(情)、ともにやりぬく子(意)

○あいさつと笑顔であふれる学校

○思いやりと優しさが感じられる学校

○高学年が在校生の「あこがれ」の存在となる学校

○保護者・地域とともにあゆみ、信頼される学校

修学旅行で学んだこと

校長

先日、6年生が広島への修学旅行に行っていました。直前の学級閉鎖があり、体調不良なども心配されましたが、全員揃って出発ができました。健康管理など、ご家庭でのご協力、誠にありがとうございました。行きのバス、新幹線の車内ではリラックスした様子も見られましたが、目的地に近づくにつれて「自分たちの思いを届けよう」「この地でしっかり学ぼう」とする気持ちが子どもたちの表情にあらわれていました。広島では、被爆の悲惨さや、そこに生きた人々の苦しみ、そして命の尊さについて深く学んでいました。ここで、原爆の子の像の前で子どもたち自らが考えた誓いの言葉を紹介いたします。

私たちは授業を通し、戦争や原爆の被害、昔からの平和への願い、語り継ぐ人々の想いを知りました。何があったかを知ったうえで、私たちは考え続けます。本当の平和とは何か。私たちに何ができるのか。今は平和なのか……。答えは出ません。それでも、私たちは考え続け、そしてつないでいきます。平和を大切に、平和な未来を届けられるよう行動していきます。命の尊さや戦争の悲惨さを未来へ伝え、同じ過ちをくりかえさないことを誓います。

令和7年5月22日 箕面市立箕面小学校 6年生一同



この6年生の言葉にもあるように、何より大切なのは、学んだことをこれからの生き方につなげていくことです。日々の暮らしの中で、小さなことでも誰かのためにできることを考え、実行していく。それこそが、平和を築く第一歩になるのではないのでしょうか。ただ「戦争がない」ということを願うだけではなく、人と人々が互いに思いやり、尊重し合うこと。この修学旅行を通じて、その本質を子どもたちは感じたことでしょう。子どもたちの成長に、子どもたちの言葉に胸が熱くなりました。

また、修学旅行中、子どもたちの素敵な姿をたくさん見ることができました。暑さの中しんどそうにしている仲間を気遣う姿、誰かが前で話を始めるとさっと切り替え耳を傾ける姿、集合時間の数分前には集まる姿、海外からの方に元気に挨拶をする姿、家族のことを考えお土産を悩んでいる姿、運転手さんやお店の方にしっかりお礼を言う姿、夜のレクリエーションで仲間の健闘に拍手し合いみんなで楽しむ姿…。



箕面小学校の教育活動において大事にしてきたことは、間違っていなかったと実感させてくれる場面をたくさん見せてくれた 6 年生でした。箕面小学校の子どもたちが自分らしく、また人にやさしく成長していけるように尽力していこうと決意を新たにできた修学旅行でした。今後とも皆様の変わらぬお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。